

栃尾消防署移転工事基本設計業務委託 概要書

1 事業概要

(1) 基本方針

栃尾消防署移転建設工事の基本方針は、次のとおりである。

- ・ 栃尾大町地内にある栃尾消防署を、栄町 2 丁目地内へ移転新築し、災害対策庁舎であることから、耐震上及び防火上安全な構造を検討する。
- ・ 執務中や仮眠中などの様々な状況において、職員が安全かつ迅速に災害出動できる動線の最短化に努める。
- ・ 女性職員が安心して勤務できることや、24 時間の勤務体制において職員が働きやすいことなど、業務面と生活面の両立に配慮した建物とする。
- ・ 同一敷地内にある防災ヘリポートの運航を考慮した、機能的な配置及び構造等を検討する。

(2) 施設概要

大規模地震や水害など、災害時においても継続的に庁舎機能を維持できる施設とするため、消防車車庫、事務室、仮眠室、食堂、消防団会議室、防火衣室、救急準備室、資器材倉庫、シャワー室、トイレ、乾燥室等を備える。

(3) 施工場所 長岡市栄町 2 丁目甲 6 - 1

(4) 建設方法 新築

(5) 延床面積 1,300 m² ～ 1,400 m² 程度

(6) 構造 基本設計において検討する。

(7) 委託内容

- ① 上記を踏まえた基本設計
- ② 建築基準法、消防法及びその他関係法令の整理
- ③ 概算工事費の算出
- ④ 概略工事工程表の作成

(8) 設計の諸条件

- ① 職員間の感染症の拡大、予防対策及び職員の福利厚生のために、個室仮眠室を 19 室（男性用 17 室、女性用 2 室）設置すること。
- ② 庁舎の一部に山岳救助や立て坑救助を想定した訓練が通年できるよう検討すること。
- ③ 職員の駐車スペース確保を考慮した計画を検討すること。

(9) 今後の計画（予定）

- ・ 令和 4 年度：基本設計
- ・ 令和 5 年度：実施設計
- ・ 令和 6 ～ 7 年度：建築工事、電気設備工事、機械設備工事
- ・ 令和 8 年度：供用開始

2 敷地の概要

- (1) 敷地面積 3,391.04 m²
- (2) 地 面 土
- (3) その他
 - ・隣接する防災ヘリポートはアスファルト舗装
 - ・次ページ配置図を参照

3 現庁舎の概要

- (1) 既存施設の概要
 - ・竣工年月：昭和44年3月
 - ・敷地面積：716.82 m²
 - ・建物構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建て 延床面積851.51 m²
 - 1階：消防車庫、仮眠室、救急機材室、倉庫等
 - 2階：事務室、食堂、仮眠室、応接室、風呂場等
 - 3階：会議室、仮眠室、倉庫、書庫等
- (2) 勤務状況
配置人員37人（内日勤者3人）、2交替制（勤務人員11～12人）
- (3) 配置車両
消防車2台、救助工作車1台、救急車2台、司令車1台、連絡車2台

4 消防庁舎整備基準

別添資料による